

● 平成 29 年度 交流会 第 2 回 『内分泌疾患（甲状腺ホルモン）』 ●

講 師：広島大学病院 小児科 香川 礼子先生  
実施日時：平成 29 年 9 月 13 日（水） 14：00～16：00  
会 場：南区民文化センター 大会議室 A  
対 象 者：甲状腺ホルモンに関与する内分泌疾患の子どもの家族、  
支援関係者、関心のある方  
参 加 者：家族：4 名、本人：1 名、一般：1 名 担当：広島市

● 講演内容

①甲状腺病態生理について

甲状腺の位置、関与するホルモン、その働きについて

②こどもに見られる甲状腺の病気

先天性甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症、自己免疫性甲状腺機能低下症（橋本病）  
甲状腺クリーゼ

③各疾患の治療

④疾患に罹患している女性の妊娠・出産

甲状腺の病気とヨウ素



● アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「診断はまだ付いていないが、今後の参考にしたかった」「病気について知りたかった」  
「主治医以外の先生と交流を持ちたかった」

<参加された方の感想>

「改めて勉強になった」「先生のお話が丁寧で分かりやすかった」  
「普段聞けないことを聞くことが出来た。安心した」

● 相談員より一言

事前申し込みが少ない会でしたが、当日に 5 名の方の参加を頂きました。講師と同じテーブルでの講義となり、皆さん近い距離でしっかりとお話を頂くことが出来ました。会の最後には個別で相談も受けていただけて、参加人数は少なかったものの満足度の高い交流会となりました。

